

西野町小学校のホームページをごらんいただき、ありがとうございます。

4月 校長あいさつ

本年度で3年目になります校長の石川雅春です。

本校は、明治25年8月、西野町村立西野町尋常小学校として開校以来、126年の伝統と歴史を有する学校です。

西野町地区は抹茶生産日本一の西尾市の中でもまさにお茶どころで、学校周辺一帯にはお茶畑が広がっています。校庭にも茶園があり、お茶の香りが漂っています。

「全校茶会」などお茶の行事が計画されるとともに、特色ある活動として、御殿万歳部の活動や剣道部の活動があります。

今年で発足して30年になる御殿万歳部は、お正月の「新春の舞」を始め、多方面からの依頼を受け、万歳を披露し、喜ばれています。

剣道部は発足して87年になります。過去には武道館で行われた全日本少年武道錬成大会で優勝したことも2度あります。お正月に行う元旦初稽古会は県内外より剣士が300名ほど参加します。

また、平成25年2月には、ユニバーサルデザインを取り入れた指導の工夫について研究発表を行っており、関心の高い教育関係者が今も来校されています。

4月6日に54名の新入生が入学し、全校児童数300名で順調にスタートしました。

そして、児童と共に新しく仲間入りしたのが、「おまっちゃん」です。8年前から西野町小のオリジナルキャラクターとして、印刷物等には登場していましたが、今年度より「実物」がいろいろな行事に登場します。



全校茶会の様子



御殿万歳の様子



元旦初稽古会の様子



では、今年度の学校経営方針について以下に示します。

平成30年度 西尾市立西野町小学校 学校経営について

1 学校教育目標

心美しく、進んで学ぶ、たくましい子の育成

- ・心の美しい子 (徳)
- ・進んで学ぶ子 (知)
- ・体を大切にする子 (体)

2 めざす学校の姿

子どもたち一人一人が輝き、通うことが待ち遠しい学校

3 経営方針 (「茶の心」を大切に — 「茶育」への第一歩 —)

- (1) 学校教育目標達成のために、全教職員が参画意識を持ち、調和のあるチームとして教育活動にあたります。
- (2) 日々の授業をはじめ全教育活動において、常に子どものことを第一に考えた実践を積み重ねます。
- (3) 「茶の心」を育てる「茶育」を意識し、質の高い校風を創ります。
※「茶の心」=思いやりの心、助け合う心、ほっとする心、ゆとりのある心

4 本年度の重点 (3つの柱+1)

- (1) 主体的な学級・児童会活動、ペア学年の交流活動、家庭・地域との交流活動、道徳教育の推進などを重点に、美しい心の成長を図ります。
 - (2) 「主体的・対話的で深い学び」を促す授業の構築、ユニバーサルデザインの活用、充実した読書活動、学習規律、学習習慣の定着などを重点に、進んで学ぶ姿を育成します。
 - (3) 基本的な生活習慣の向上、健康推進活動、体力づくり、防災教育などを重点に、命を大切にするたくましい子の育成に努めます。
- +1の例・・・郷土の良さに目を向けた取り組み、「おまっちゃん」の活用等

保護者の皆様、地域の皆様とともに、よりよい西野町小学校を創造していきます。どうかよろしく願いいたします。

